

横出多御名  
 代表  
 宏師さん

ラジオを手作りし、物を作るのが得意だった。中学生で聞いたジャズナンバーに衝撃を受け、その当時から「いい音」を探索し続けてきた。



Q 知名さんが開発したアンプ・スピーカースピーカーの特徴は？

A 一言でいうと「シンプル・イズ・ザ・ベスト」です。通常のアンプは、さまざまな操作スイッチがありますが、わが社のもは電源と音量、接続を切り替えるのセレクターの

Q 生音のように聞こえる理由は？

A 電気が通る部分はすべて同じ素材で溶接していることが一つの理由です。通電を邪魔しないため、音量を大きくしてもノイズが非常に少なく、



「第44回沖縄県発明くふう展」沖縄県発明協会会長賞受賞作品のターンテーブル。空気力で天板を浮かせるため、抵抗がない

長くて、店内に音がいきわたらず、音量を大きくするだけでは解決できませんでした。

その時に音の広がりである指向性と音量は、分けて考える必要があることに気づき、全方向に音を伝えるスピーカ

ーの着想を得ました。



Q 音への探求はいつからしていますか？

A 小学生で鉱石ラジオ作りにはまり、中学生では真空管を使った自作のスピーカーで音楽を聴いていました。また中学生のときにジュークボックスで聞いたデイベルブルベックの「トルコ風ブルーロンド」という曲に感銘を受けた

# いい音求めたものびん

アンプや円筒形のスピーカーを独自に開発・販売している、知名御多出横代表の知名宏師さん(69)。小学生の頃から



## 現場の気づき 新たな発想に

小さな音量でもしっかりと再生するので非常にクリアな音になります。



Q スピーカーの発想はどこから？

A 現場の仕事を通してですね。ある店舗の音響をまかされたときのこと。間取りが細

### 那覇ショールームで音を体感



できる。商品のラインナップや価格、サイズ、性能など詳しくは問い合わせを。

知名さんが作る円筒形のスピーカーが奏でる音は、全方向に広がり、室内のすべての場所がリスニングポイントに。音は、実際に聞いて体感するのが一番。いつも聞いているCDやLPを持ち込んで、試聴することも

Q 今後の目標は？  
 A 現在、自社オーディオシステムの特許を申請中で、それに合わせ、音の良さや特質を実証する論文の準備をしています。また音が伝わっていく空気について理解を深めるために、飛行機の模型やラジオンを作り続けています。これは航空力学や流体力学的な観点も、ものづくりの発想に取り込んでいきたい。これからも新しいものを作り続けていきたいです。